

② 信頼される学校・教職員へのステップの改定した内容について

資料2 本(平成27)年度改定した「信頼される学校・教職員へのステップ」



上の図が、本(平成27)年度に改定した新しい「信頼される学校・教職員へのステップ」図です。改定の内容は2つです。

まず、**ステップ1**を「組織としてのステップ1」と「個人としてのステップ1」に分けて表現しました。「組織としてのステップ1」は従来通り「風通しの良い職場環境づくり」の推進です。（※本研修のページの「風通しの良い職場環境づくりはこちら」を参照してください。）

そこに「個人としてのステップ1」として「教職員としての誇りと自覚」を加えました。私たち一人一人が教職員としての「誇り」と「自覚」をより強く意識し、個人の力量を上げていかなければ、いくら人間関係の良好な組織があったとしても、コンプライアンス意識の向上は図れず、信頼される学校・教職員という目標の達成は困難になるということです。この「教職員としての誇りと自覚」については、次の項で詳しく説明します。

改定の内容の2つ目は、**ステップ2**内に記述した「組織も個人も『適度な緊張感』をもって」というところです。過度な緊張感に押しつぶされるような職場環境は、私たちの教育という仕事の妨げになります。一方で、緊張感のない職場からは、価値ある仕事は生まれません。私たちが自信をもって日々の業務に取り組み、成果を上げるために必要な要素として『適度な緊張感』というキーワードを用いました。この言葉自体は、従来のステップ図にも記載されていましたが、今回はより強調したいと考え、中央に配置しました。